



## 説教要旨「わたしを思い出してください」

ルカによる福音書 23章39～43節

イエス・キリストが十字架にかけられたとき、二人の罪人が一緒に十字架にかけられました。一人はイエス様に向かって悪態をつきますが、もう一人はそれをたしなめ、「イエスよ、あなたの御国においでになるときには、わたしを思い出してください」（42 節）と願いました。死んだ後、自分のことを誰も思い出してくれる人はいない、それがどんなに淋しいことでしょうか。反対に、死んだ後も自分のことを思い出してくれる人がいるということは、この上ない慰めなのです。

この罪人の悔いた心、打ち砕かれた魂をご覧になられたイエス様は、「はっきり言っておくが、あなたは今日わたしと一っしょに樂園にいる」（43 節）と宣言されるのです。イエス様と一緒に最初に神様の御許に召されたのは、どこかの高名な聖人でもないし、一番弟子であったペテロでもなく、この名もない罪人だったのです。

私たちはここに永眠者記念の礼拝を守り、すでに御許へと召された兄弟姉妹たちのことを思い起こします。天にある信仰の友たちのことを思い起こすことは、生きてこの教会に連なっている私たちの義務であり責任だと言えます。しかし、日々の生活に追われる中で、亡くなられた方を思い出すということもままならない私たちではないでしょうか。ごく親しかった方であっても、月日を追うごとに思い出すことが少なくなっていくます。このように弱い私たちだからこそ、年に一度ではありますが、永眠者記念の礼拝を大切に守るのです。

今年、新型コロナウイルスの混乱の中で天に召された3名の兄弟姉妹のことを思います。施設や病院の面会が制限され、寂しい思いをさせてしまっていたのではないかと心苦しく思います。そんな私たちの心の曇りが、このイエス様のみ言葉によってぬぐわれるのです。

「はっきり言っておくが、あなたは今日わたしと一っしょに樂園にいる」（43 節）

今、イエス様と一緒に樂園におられる兄弟姉妹を思いつつ、祈りを合わせましょう。

（2020・9・27 説教者：稲垣真実）